

iPad, タブレット型PC, スマートフォンの 教育的利用

宮城教育大学 公開講座

2013/8/25(日) 13:00-16:00

@宮城教育大学附属小学校

お礼と進行と休憩

- 事前アンケート
- タブレットの教育的利用
- 附属小、中学校、特別支援学校の事例
- Androidタブレット,iTouch、岩沼小
- タブレットハード、McTiVia, AirServer ^{ふなばさま}船迫小
- 英語、理科教材、大野田小
- Windows7タブレット、東向陽台小
- ソフト: Apple Configurator, te.to.te.,ロイロノート, NoteAnyTime,座席folio
- 事後アンケート、修了証書配布

事前アンケート

- iPad初心者向けの講習会をやって欲しい
- 個別の質問タイムを別途設けて欲しい

iPad,Androidタブレット,タブレットPCを 教育で使う利点・欠点

- PCは特定の教室でしかできない
⇔どの教室でも使える=どの教科でも使える
- PCは起動に時間がかかるがタブレットは速い
=いつでもすぐに使いはじめることができる
- キーボード・マウスの技術の修得が不要ない
=低学年から使えるだけでなく、単なる情報取得だったPCより、思考・共同作業など、先に進むことができる
- PCでできることはタブレットでもできる
=価格も半額、脱PCの動き

iPad,Androidタブレット,タブレットPCを 教育で使う利点・欠点

- 新しくタブレットを練習しなくてはならない
→Windowsタブレットならほぼ従来通り
- 無線LANのインフラが必要
→確かに！
→自分のスマホのテザリングでスタートできる
- ソフトが十分揃っていないのでは
→iPad,Androidのソフトだけで何十万も
特別支援用にも
- 他の欠点は？

教育に求められるタブレットの特徴

- 機動性
持ち運べる、軽い、バッテリーが長持ち
- 操作性
タッチしやすい、画面が見やすい、スクロールやズームなど、直感的操作がしやすい
- 活用性
アプリの種類、カメラ、マイク、GPSの有無

OS別タブレットの比較

Windowsタブレット



Androidタブレット



iPad



利点

- 既存の環境をそのまま利用できる
- Flashが利用できる
- 大型TVに無線投影

欠点

- スペックが高い必要がある
- ネットワーク帯域を沢山使う
- バッテリー駆動時間が短い
- 動作が遅い、重量も思い
- 価格が高い

- 好みの設定ができる
- 価格が安い
- 様々なメーカーから販売

- 自由すぎて操作方法がわからない
- 危険なアプリの存在
- スペックの低いものも存在

- 画面インターフェイスが洗練
- 1社品で一貫性
- 大型TVに無線投影

- 自分好みに設定を変更できない
- ハードウェアの種類が限られている
- SDメモリなど外部インターフェイスがほとんどない

Wi-Fi ストローレージの利用

- Wi-Fi無線を使いタブレットにデータを転送する
- クラウドDropbox,GoogleDriveを使わなくても自前のデータを転送できる＝安心

